



公立大学法人
北九州市立大学



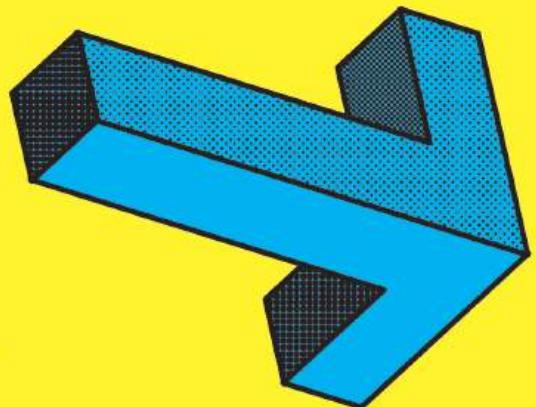
「自分の未来図」を
カタチにした
北九大生の就活体験記

Shaping 'Your Vision of the Future'
Job-Hunting Experiences of
Kitakyushu University Students



ミライズ

MIRISE



「自分の未来図」をカタチにした 北九大生の就活体験記

就活は挑戦の連続。

21人の北九大生が語る、就活の舞台裏。

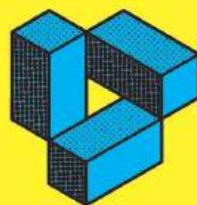
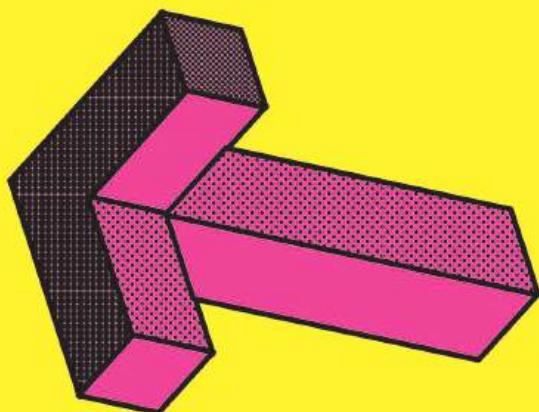
冊子タイトル「MIRISE」は「未来」と「rise」(上昇)を組み合わせた造語です。

夢や目標に向かって一歩ずつステップアップし、自分の「未来図」をカタチにした

21人の就職活動にまつわる貴重な体験談を集めました。

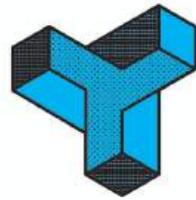
先輩のリアルな声を参考にして自分自身が納得のいく結果を出しましょう。

キャリアセンターは北九大生の就活を全力でサポートします。





CONTENTS



エアライン座談会 P02

#01 北九州市役所 P04

#02 株式会社TVQ九州放送 P04

#03 九州旅客鉄道株式会社 [JR九州] P05

#04 警視庁 P06

#05 株式会社西日本シティ銀行 P06

#06 株式会社マイナビ P07

#07 株式会社JTB P08

#08 シャボン玉石けん株式会社 P08

#09 株式会社スターフライヤー P09

#10 全日本空輸株式会社 [ANA] P10

#11 厚生労働省 労働基準監督官 P10

#12 TOTO株式会社 P11

#13 TOPPAN株式会社 P12

#14 株式会社みずほ銀行 P12

#15 九州電力株式会社 P13

#16 国土交通省 航空管制官 P14

#17 日本貿易振興機構 [JETRO] P14

#18 財務省 門司税関 P15

#19 株式会社福岡銀行 P16

(ふくおかフィナンシャルグループ)

#20 法務省 福岡出入国在留管理局 P16

#21 日本航空株式会社 [JAL] P17

キャリアセンターについて P18



MIRISE



エアライン座談会

本学のエアライン講座を受講し、

客室乗務職で内定を得た先輩たちから、

就職活動の進め方やリアルな体験談を聞いてみました。

Q5 エアラインの企業研究はどのようにされていましたか？

Q6 他の内定者に内定式で会われてみて、どのような方が選ばれていくのだと思われましたか？

Q7 面接対策は具体的にどのようなことをされましたか？

Q8 面接など緊張してうまく話せないですが緊張をほぐす方法があれば教えてください

Q9 在学中にやっておいた良いと思われるご質問を教えてください

Q10 その会社に入社を決められた理由を教えてください



CAを目指したきっかけは？

谷さん 小学生の頃からCAに対して憧れがありました。当時は専門学生しかCAになることができないと勘違いしていたため、専門学校に行きたかったのですが、学費のことなどいろいろと考えて、仮に他の職種を目指すことになっても北九大なら何とかなるかなと思って本学を選択しました。キャリアセンター主催のエアライン講座を受講し、ともにエアラインを目指す仲間を見て「本気にならないといけない」と感じたことが、夢に向かって前進する大きなきっかけだったと思っています。

中尾さん 小さい頃に飛行機に乗って、純粋に格好良いと思

いました。当時習っていた英会話の先生に、初めて自分の口から「CAになりたい」と伝えたところ、とても喜んで応援してくれたことがきっかけで、漠然とした夢が確信に変わりました。

下平さん 卒業生で元客室乗務員の方のエアライン講座を受講しました。講座を通して、幼い頃から抱いていた客室乗務員への憧れが目標に変わりました。

企業研究はどのようにしましたか？

下平さん 会社主催の説明会や複数の会社が合同で開催している説明会に行き、会社の特徴や他社との違いを学びまし



下平 莉子さん
内定先:日本航空株式会社
出身校:福岡県立香住丘高等学校



中尾 桃子さん
内定先:全日本空輸株式会社
出身校:福岡県立伝習館高等学校



谷 美空さん
内定先:全日本空輸株式会社
出身校:福岡県立東筑高等学校

た。また、実際に飛行機に搭乗して、客室乗務員の所作や言葉遣い、仕事内容などを学んでいました。

中尾さん 一人ではなかなか勇気がでなかったので、友達と合同企業説明会に参加しました。また、お金はかかりましたが、実際にいくつかの航空会社の飛行機に搭乗してみました。

谷さん 私も合同説明会に参加したり実際に飛行機に搭乗したりしました。また、時間がある時は空港のカウンターで、様々な航空会社の方の働いている姿を実際に見て、業務の邪魔にならないよう、お客様がいない時を見計らってスタッフの方にお話をうかがってみたりもしました。

面接練習はどのように行いましたか？

谷さん 私は特にAI面接が苦手でした。とにかく友だちと何度も繰り返し面接練習をすることで、雰囲気に慣れるように努力していました。

中尾さん 遠方の友達とZoomを利用して練習しました。私は、面接で話す言葉を準備すると、その通りにしか言えなくなってしまうタイプなので、伝えたい内容のみを事前に考えて、その場で自分の言葉にするようにしていました。

下平さん 紧張しやすい性格なので、友達と繰り返し面接練習をし、自分の思いを伝えられるように努力しました。お互いの面接を見てアドバイスをし合っていました。

どうやって緊張をほぐしていた？

下平さん 面接当日には、今まで使ってきたノートなどを持参し、「これだけやってきたから大丈夫」と自分に言い聞かせていました。また、面接は会社の方と直接お話しさせていただける特別な機会なので、自分の思いを素直にお伝えできるようになんとなく会話を楽しもうと思っていました。

中尾さん 元々あまり緊張しないタイプなのですが、さらに、

これまで行ったたくさんの練習が自信につながったことも大きかったと思います。

谷さん 緊張は誰でもするものだと諦めていました。そのため、面接でなければ、今後直接話す機会などないかもしれません。役職のある方とのコミュニケーションを、先の未来を想像して楽しむように心がけました。

在学中に実践したこと、 やっておいた方が良いことは？

谷さん 私は台湾に半年留学していたのですが、理由はコロナの影響で中国に行けなかったからでした。ただ、留学先が台湾だったため、英語と中国語の両方を学ぶことができました。おかげで、帰国後も交換留学生の銀行口座開設などをサポートするボランティアとして活動することができました。

中尾さん アルバイトやボランティアをいくつかしていたため、面接において、自分が経験したオリジナルエピソードを話せたことが良かったと思います。また、在学中に地元航空会社でアルバイトをし、お客様対応を経験できたことは、私にとって、とても大きな財産になりました。

下平さん 私は塾講師としてアルバイトをしながら、JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)の運営スタッフ、留学生をサポートするGYCなどに所属していました。学業はもちろんですが、サークル活動やアルバイトなど学校外での活動は視野を広げる良い機会になると思います。





#口1

島津 帆果さん
法学部 政策科学科
出身校:福岡県立小倉西高等学校

内定先: 北九州市役所

業種: 地方公務

業界・業種・企業を目指した志望理由

大学3年の夏休みに参加した独立行政法人のインターンシップで、自分の就職活動の軸は、北九州市で暮らすことと、北九州市の地域振興の一助となることであると確信しました。また、同インターンシップ内で北九州市役所の様々な課の職員の方にお話を伺う機会を設けていただき、北九州市役所の職員の皆様の雰囲気や、ジョブローテーションという体制をとることで様々な視点から北九州市の課題にアプローチできるという点にとても魅力を感じました。これを機に、公務員試験を受験し、北九州市役所を受験する覚悟が決まり、勉強にも徐々に気合いが入るきっかけになりました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

始めから就職活動を意識して行動していたわけではありませんが、大学生活において挑戦したいことはとにかく行動に移して実現させることを常に心がけていました。私は、421Lab.(地域共生教育センター)での活動や短期留学、アルバイトに特に力を入れており、結果的に面接カードでもそれらの経験をたくさん書くことができたので、頑張ってきてよかったと感じています。ちなみに、面接カードは、深堀してほしいところは完璧に書かずに、相手から質問してもらえるように書くことがコツです。また、4年間の経験はすぐには詳細に表せないと思うので、コツコツ思い出しながらメモ程度でも書き記しておくことをお勧めします。筆記試験が始まってからは、終わってみればあっという間でしたが、様々な試験を受けるために体力も気力も必要なので、自分なりのストレス解消法や生活のリズムを確立しておきましょう！

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

公務員も民間も、就活は自分のメンタルとの戦いだと思います。私自身、頭では分かっていても、模試の結果で一喜一憂してしまったり、周りの人の話を聞いて焦ってしまったりすることがありました。しかし、向き合うべきは周りではなくて自分だということは理解していましたので、気持ちが上がらない時は、自分なりのストレス解消法を試し、一度休んで自分の機嫌をとるようにしていました。私は、大学のキャリアカウンセラーや友人に話すこと、ドラマや音楽に没頭することでストレスを発散していました！皆さんも、焦り過ぎず自分の感情と向き合いながら、本当にやりたいことに向かって進んでいってください。心から応援しています！



#口2

前川 明日実さん
文学部 比較文化学科
出身校:福岡県立筑紫高等学校

内定先: 株式会社TVQ九州放送

業種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

就職活動を始めた当初は、自分が将来何をしたいのかが全く分かりませんでしたが、自己分析を進めていくうちに、人を笑顔にできる仕事がしたいと考えるようになりました。

そして、テレビという強い発信力を持つメディアを使い、より多くの人を笑顔にしたいという思いからマスコミ業界を目指すようになりました。30社以上のテレビ局を受験し、何通ものお祈りメールに心が折れそうになる時もありました。しかし、最終的には、地元福岡で多様なジャンルの番組作りに力を入れているTVQ九州放送にご縁をいただき、就職を決意しました。



小田 浩代さん
文学部 比較文化学科
出身校:福岡県立宗像高等学校

内定先: **九州旅客鉄道株式会社【JR九州】**
職種: 事務系

業界・業種・企業を目指した志望理由

就職活動を始めた当初は、「自分の好きなことに貢献できる仕事をしたい」という漠然とした思いがありました。その方向性が定まらない中、きっかけとなったのは、3年生の6月に参加した合同企業説明会でした。JRに対しては普段利用している鉄道の会社というイメージっていましたが、説明会を通じて、九州に寄り添いながら観光列車や鉄道以外の事業にも多角的に取り組んでいることを知り、入社後も多様な事業に関わるチャンスがあると感じ、強く興味を持ちました。他企業も見た中で、①ほとんど九州内が勤務地であること②育休・産休等の制度が整っていること③公共性のある事業に携われること④社員の方々の雰囲気が自分に合うと思ったこと、以上の4点を決め手に、この企業で働きたいと強く思うようになりました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

インターンシップと同時期から、エントリーシートの定番設問に対する回答を文字数ごとに作成し、約半年かけてブラッシュアップしていました。更に、就職活動を進める中で、多くの情報や企業の設問に触れるたびに、内容は大きく変化してきました。最終的に提出する前には、キャリアセンターの先生や友人に添削していただき、自身の文章の癖を修正できたので、大変良かったと思います。また、インターンシップ参加後には、JOB×HUNTERにも参加しました。最後に設けられた座談会では、インターンシップでお世話になった社員の方々と少人数でゆっくりお話しさせていただくことができ、その後の就職活動のビジョンをより具体的に描けるようになりました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就職活動を始めた頃、語学力やインターンの経験がない私は、自信を持てず、自分の強みやガクチ力を認識できていませんでした。また、自己分析を繰り返しても、うまく文章にまとめることができず、悩んでいました。そこで、体験談サイトに掲載されている様々な企業の過去のエントリーシートを参考にしてみました。形式を知り、自分の経験を振り返り、一番伝えたいエピソードを自己PRに選ぶことで、納得のいく自己PRを書くことができたと思います。就職活動を通して、何をしたかよりも、どのように考え、どう行動したかを伝えることが重要だと感じています。3年生のうちは、就職活動以外にも忙しいことが多く、思うように動けないかもしれません、気が向いたときに少しずつでも進めておくと、焦ることなく、自信を持って本番に臨めると思います！

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

特に自己分析と面接練習に力を入れました。自己分析については、毎日五程度の日記をつけることで、自分がどんなことに喜びを感じたり悲しんだりするのか、自己理解を深めるきっかけになりました。また、日常の些細な出来事を書き留めておくことは、面接の際の話題作りに役立ちました。さらに、面接対策では、3年の春からアナウンスクールに通い、自分の魅力をアピールする練習や、物怖じせずに面接官と心のキャッチボールができるよう、模擬面接を繰り返しました。最初の方は面接で暗唱したような受け答えしかできませんでしたが、回数を重ねるごとに、ありのままの自分で落ち着いて面接に臨むことができるようになりました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

自分が将来何をしたいのかビジョンが全く見えず、不安を感じている人も多いと思います。就職活動では、自分のこれまでの経験を面接官に話す機会がたくさんあります。どんな小さな経験も、自分にしか話せない大切な経験です。貴重な最後の学生生活、アルバイト、旅行、スポーツ、趣味など自分の引き出しをたくさん増やせるように、いろいろなことに全力でチャレンジしてみてください！



#04

佐藤 晴さん
地域創生学群 地域創生学類
出身校：明誠学院高等学校

内定先：警視庁

職種：地方公務

業界・業種・企業を目指した志望理由

幼い頃イベントに連れて行ってもらった際、初めて警察官という職業を知りました。パトカーや白バイに乗って、困っている人や地域のために働いている姿に憧れを持ち、自分も人や地域のために役に立つ仕事をしたいと思い、警察官を目指しました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

大学生活で力をいたことは実習活動・ゼミ活動・部活動の三つです。

実習活動では、北九州市の小倉北区、小倉南区のエリアを中心に活躍されている社会人や飲食店を経営されている方にインタビューを行い、自分たちでSNSに記事を載せ、もっと北九州や小倉に興味を持ってもらえるように情報を発信する活動を行っていました。

ゼミ活動では、地域の様々な主体と連携しながら、修学旅行生や高齢者に対しての北九州市のガイドやまちあるき、八幡東田エリアのエリアマネジメントを行いました。また、長崎県五島列島にある宇久島で、観光客や島民が気軽に自由に本が読める仕組みづくりを目指すプロジェクトなど、様々な活動を行ってきました。これらの経験をもとに、多くのコンテストやコンペにも応募しました。中でも、スポーツ庁が主催するスポーツ健康まちづくりデザイン学生コンペティション2023で優秀賞と審査員賞をいただきました。

また、私はバスケットボール部に所属しており、部活動では、上の部（リーグ）に昇格できるように、日々の練習から試合までチーム一丸となって頑張っていました。そのために、練習内容や練習時間の改善、試合、本番をイメージしやすいように、他大学との練習試合も増やし、実践感覚を身に付けるように練習してきました。

様々な活動の中でも、特に警察官になるにあたって経験してよかったですことは部活動です。私は小学4年生から大学4年生までの約10年間、バスケットボールを続けてきました。バスケットボールはチームスポーツであることから、チームとしての動き、個人としての動きの両方を得ることができました。また、体力や運動能力も向上できたと思います。警察官は大きな組織で動くため、チームスポーツをやっていて

良かったなと思います。また、体を使って、人や地域を助けたり、事故現場や事件現場に向かったりすると体力も必要なため、それらの力を得ることができて良かったです。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

私は就職活動において自分ができることではなく、自分がやりたいことを軸に活動をしてきました。だからこそ、絶対に合格してやるという高いモチベーションを維持しながら就職活動ができました。また、周りが自分よりも早く内定をもらうこともあるかと思いますが周りのことは気にせず、焦らずに自分のペースで進めていけば、いい結果につながるはずです。今までの学生生活よりも社会人生活の方が圧倒的に長くなるので、悔いの残らないように就職活動を頑張ってください。

#05



氏名非公開
経済学部・経済学科
出身校：非公開

内定先：株式会社西日本シティ銀行

職種：地域総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

大学生になって始めた販売業のアルバイトで、人のために行動することが自身の力になり、やりがいを感じたことから、自分の強みが「人のために尽くす」とことだと気が付きました。その経験から、人の助けになることを実感でき、その人の人生に寄り添える仕事に就きたいと考えるようになりました。私にとって、その両方を満たすものが、地方銀行でした。また、地元である福岡で働きたいという思いもあり、内定先の銀行が選択肢の一つになりました。そこから、説明会に参加したり、企業理解を深めたりするなかで、新型コロナウイルス関連融資がトップ



#口6

酒井 穂波さん
法学部 政策科学科
出身校：山口県立宇部高等学校

内定先：株式会社マイナビ

職種：総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

大学時代の課外活動で社会人と多く関わる機会があり、対企業の仕事に適性があると感じました。また、就職活動中に自己分析や自己分析が得意であることに気づき、人のキャリアに関わる仕事に魅力を感じました。これらの経験から、自分の強みを活かし、個々の成長を支援できる業界で働きたいと考え、この企業を選択しました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

就職活動では、「自分の足で情報を取に行く」姿勢を大切にし、インターンシップや企業説明会に多く参加しました。自分の目で見て得た情報を重視する一方、広い視野や考え方を持つ社会の方の話を聞くことも重要だと考え、積極的に意見を伺うよう心がけました。特に興味を持った企業には、自ら何度も面談をお願いし、自分の理想のキャリアについて深く話し合う機会をいただきました。通常、企業に複数回の面談をお願いするのは難しいので、非常に恵まれた環境にあったと思います。また、ゼミの友人と週に1時間程度、就職活動の進捗を共有する時間を設け、支え合うことができたのも大きな助けとなりました。仲間と励まし合いながら、孤独を感じることなく、前向きに就職活動に取り組むことができたと感じています。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

自分の目で見て、得た情報を大切にしてください。他者の意見に惑わされることなく、自分の「納得感」を基準に、キャリアの第一歩を踏み出してほしいと思います。応援しています！

クラスであることや、伴走型支援に力を入れていることなどを知り、銀行と企業の信頼関係の深さに惹かれました。そして、他行との違いとして「人」があげられており、お客様や行員を大切にするあたたかい銀行であることが印象に残り、第一志望になりました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

内定までの努力として「自分を知る」ということに力を入れました。面接ではエントリーシートに書いたことが深掘りされます。その受け答えをスムーズに行うには、エントリーシートをしっかり作成することが大切です。そのため、自分を知る必要がありました。具体的には、エントリーシートの定番の項目（学生時代に力を入れたことや、自己PRなど）に対して、自分の長所や短所、アピールに役立つエピソードを今までの経験から導き出したり、周囲の人間に聞いたりしながら書き込みました。その後、面接の対策として、どうしたら自分らしく、話しやすい文章になるかを考え、実際に口に出しながら文章化を行いました。そして、自分の長所は笑顔だと認識できていたので、面接では笑顔を意識してアピールしました。自己理解を深められれば、書き表した自分と、本来の自分とのギャップがより小さくなり、面接でも存分にアピールができるので、自己分析はしっかりと行いましょう。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

自分が何をしたいか、わからない学生は多いと思います。しかし、就職活動をしていく中で、自分に合う企業や仕事はきっと見つかります。そのためには、やはり自己分析が大事なので、自分との対話を重ねましょう。自分を客観的に見ることも大事です。就職活動中、特に面接はとても緊張すると思います。しかし、面接官の方はそれをきちんと理解されているので、焦らなくて大丈夫です。明るく笑顔で、ゆっくりはっきりと自分の言葉で伝えてください。自分の強みをアピールする大チャンスです！！

最後に、他人と比べる必要はありません。就職活動をする中で、自分より先に内定が決まる人もいます。だからといって、焦ったり悩んだりする必要はありません。人によって就職活動は様々で、内容もスピードも違います。自分らしさを見失わない就職活動ができ、あなたが惹かれる企業と出会えること、そして内定につながることを願い、応援しています。



#口ノ

松本 健太朗さん
外国語学部 英米学科
出身校: 鎌ヶ谷学院高等学校

内定先: 株式会社JTB

職種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

私は中学生の頃から、世界中の人々をつなぐ仕事がしたいという夢を抱いていました。初めて海外を訪れた際に感じた衝撃や感動を、多くの人々にも経験してほしいと思い、その体験が一人ひとりの成長につながることを願うようになりました。このような思いから、観光業に強く興味を持つようになりました。

特に私自身、JTBが提供する語学研修プログラムに参加した経験があることから、教育的要素を含む旅行に深い関心を持つようになりました。また、働く上で、様々な場所で多くの人々と出会い、多様な経験を積みたいと考えています。教育関連の旅行だけでなく、企業向けの旅行にも携わることで、幅広いキャリアを展開できる点に大きな魅力を感じ、JTBを志望しました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

私は大学3年の2学期に留学を経験したため、帰国後に就職活動を本格的に始めることになり、インターンに一度も参加していないなど、他の就活生に比べて出遅れた状態でした。しかし、このまま納得のいかない就職活動をすると、せっかくの留学経験を後悔してしまうと考え、帰国後すぐにイベントや説明会に積極的に参加し、本気で就職活動に取り組みました。

また、面接では留学を通じて培った自分自身の人間性など、強みをアピールすることに注力しました。具体的には、自身の献身性やコミュニケーション能力など、留学中に成長した点を強調し、自分らしさを伝えるよう工夫しました。さらに、就職後に描くキャリアビジョンを具体的かつ正直に伝えることを心がけ、挨拶や笑顔といった基本的なマナーも徹底しました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

心が折れそうになることがあっても、決して諦めず、自分がこれまで努力してきたことに自信を持ち、たくさんの挑戦をしてほしいと思います。留学や研修などで就職活動のスタートが遅れたり、インターンシップに参加できなかったりすることで焦ることもあるかもしれません。もちろん、早めに就職活動を始め、インターンシップに参加することは大切です。しかし、大学生活で取り組んできたことは、勉学に限らずどんな経験でも自分自身をアピールする大きな武器になります。他人と比べるのではなく、自分自身と向き合いながら、最後まで後悔のない就職活動をしてほしいと心から願っています。



#口日

生盛 藍菜さん
文学部 人間関係学科
出身校: 沖縄県立首里高等学校

内定先: シャボン玉石けん株式会社

職種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

私は就職活動において業界を絞っていませんでした。自分のやりたいことや社風、会社の人たちの雰囲気など「自分が身体的にも精神的にも無理なく長く働ける環境かどうか」を重視していましたため、個別に企業を見ていくうと思い、早くから多くの企業のインターンシップに参加していました。

その中でも『シャボン玉石けん』を選んだ理由は、「本当にいいものを作っている」という点やお客様との関わり方、社内の雰囲気などが自分に合っていると感じたためです。



#09

吉良 珠緒さん
文学部 比較文化学科
出身校:大分県立竹田高等学校

内定先: 株式会社スターフライヤー

職種: 客室乗務員

業界・業種・企業を目指した志望理由

私が客室乗務員を目指した理由は、身边に飛行機が苦手な人がいることから、不安を抱えるお客様の心の拠り所のような存在になりたいと考えたからです。さらに、搭乗時にスターフライヤーの客室乗務員の方からポストカードとお菓子のサービスを受けた際、自分もお客様の機内での時間を特別なものにしたいと考えたことも理由の一つです。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

ダブルスクールはしていなかったため、キャリアセンター※の方や友人に協力してもらい対策をしました。エントリーシートは、限られた文量の中で自分の人間性をいかに表現できるかを注意して書

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

努力したことは「行きたいと思える企業探し」と「面接対策」です。上記のように業界を決めておらず、一つひとつの会社の事業や人を見ていくためには、膨大な時間と労力が必要になります。そのため、私は2年生の夏からインターンシップに参加して、興味を持った企業には片っ端から見学に行きました。その中で就職活動の軸が変わり、第一志望の企業を見つけるのに1年半かかりました。面接対策は大学のキャリアセンターとハローワークを主に利用しました。心配性なので、週1~2回通って練習しました。その成果もあって、本番で予想外の質問をされても落ち着いて答えることができました。加えて、第一志望の企業には卒業生訪問も行いました。

きました。難しい言葉を使って堅苦しさを出すのではなく、頭で想像しやすい文章を心掛けました。面接については、その企業や自身のことについて何を聞かれても良いように、研究しました。そして、必ず言いたいことをリスト化し、自分の言葉で話す練習を重ねました。また、エアライン特有の凛とした立ち振る舞いや声のトーンなどの練習もしました。面接は緊張するとは思いますが、会話を楽しむ形で挑めば、楽しみながら終えることができると思います。

大学生活で力を入れたことは、TOEICの勉強です。ひたすらテキストを解いて形式に慣れ、入学時から250点スコアを伸ばすことができました。また、授業やアルバイトとも両立できるよう、無理のないように継続することが重要です。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就職活動を始めるにあたって、まずは将来自分がどうなりたいか、何をしてみたいかを考えてみてください。私も客室乗務員への憧れは幼い頃からありました。自分には無理だと諦めました。しかし、実際に客室乗務員として働く友人の姿を見て、夢を実現させたいと思い、大学3年生の春に目指すことを決意しました。やりたいことがない方は、昔なりたかった職業について改めて調べてみるのも、自分を見つめ直す良い機会だと思います。気になる職業があれば、学生のうちに選考を受けて、とりあえずチャレンジしてみてください。就活中は先が見えず、不安だらけだとは思いますが、自分を勞わりながら頑張ってください。

※キャリアセンターで在学生の相談に応じてくれる4年生内定者

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就活は、方法も一人ひとり違うため、大変だと思います。私から言いたいことは、あまり根を詰めすぎないでほしいということです。私は就職活動の時期に、どこにも出かけず、やりたいこと・好きなことを後回しにしていました。その結果、第一志望の最終面接の直前でモチベーションが低下してしまい、就職活動の中で一番つらい時期になりました。そのため、やる時はやる、休む時は休むと切り替えながら進めていってほしいと思います。最後に、就職活動は結局のところ相性と縁だと感じます。「この前の面接、何で受けたんだろう」とか「個人的には完璧だったのに落ちたなー」ということもあります。自分のペースで進んでください。



#10

大津 胡桃さん
外国語学部 英米学科
出身校：宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校

内定先：全日本空輸株式会社[ANA]

職種：客室乗務員

業界・業種・企業を目指した志望理由

私がANAの客室乗務員を目指した理由は、小学生の頃に初めて乗ったANAの飛行機で客室乗務員の方が素敵な接客で丁寧に対応してくださった経験がきっかけです。その優しさとプロフェッショナリズムに深く感銘を受け、私も同じように誰かの助けになれる存在になりたいと強く思いました。また、旅行が好きで飛行機を利用する機会が多くなったこともあり、客室乗務員という職業に対して親しみを感じてきました。そして、客室乗務員の仕事を通じて世界を飛び回り、様々な方々と出会えることにも大きな魅力を感じています。このような経験から、私はANAの客室乗務員として成長し、重要な業務である保安業務に従事しながら、多くの人々に貢献したいと思っています。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

私は複数回の長期インターンシップに参加し、ガクチカを作りました。エアライン業界とは異なる分野のインターンシップでしたが、ANAの面接でも貴重な経験として話すことができたため、参加して良かったと感じています。

また、面接練習には特に注力しました。客室乗務員の就職活動では、身なりや礼儀が重要であるため、面接中の表情や丁寧な言葉遣いに気を配り、繰り返し練習しました。友人に対面やZoomで模擬面接を依頼したり、過去の質問の回答を準備したりするなど、面接への実践力を高めました。

さらに、TOEIC対策にも力を入れました。点数が思うように伸びなくて苦戦したのですが、図書館にある公式問題集を繰り返し解き、大学3年生の最後のTOEICで過去最高のスコアを達成することができました。客室乗務員は英語を使用する職業であるため、現状に満足せず、今後も語学力向上のために努力を続けたいです。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就職活動は、自分自身を見つめ直し、将来の方向性を見極める大切な時間だと考えています。学生の間はいろいろなことが経験できるので、興味があることにたくさん挑戦して、そこからやりたいことが自然と見つかってくるのではないかかなと思います。

そして「自分らしさ」を大切にしてほしいと思います。私も周りが就活を始めた時、焦りや不安を感じていましたが「自分は自分」と思い、就活中も自分らしさを大切にしていました。就職活動では気負いすぎず、楽しむ気持ちが大切だと感じました。これまでやってきたことは必ず何らかの形になるので、周りを気にせず頑張ってください！応援しています！



#11

河西 真奈さん
法学部 法律学科
出身校：北杜市立甲陵高等学校

内定先：労働基準監督官[山梨労働局]

職種：国家公務（専門職）

業界・業種・企業を目指した志望理由

中学生の頃に労働基準監督官をテーマにした『ダンダリン』というドラマを観て、憧れたことがきっかけでした。また、ゼミの判例研究の中で、労働災害によって後遺症が残り日常生活が送れなくなってしまう人や、最悪の場合には命を落としてしまう人がいることを知りました。生きるために働いているにも関わらず、働くことによって精神的にも肉体的にも追い詰められてしまう労働者がいる現状を変えたいと思い、労働基準監督官を志望しました。

さらに、インターンシップに参加した際に、労働基準監督官の仕事は労働者だけでなく、使用者も守ることにつながると教えていただき、その社会的意義の高さに惹かれたことも志望した理由の一つです。



#12

中村 真さん
地域創生学群 地域創生学類
出身校:熊本市立必由館高等学校

内定先: TOTO株式会社

業種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

私がTOTO株式会社を志望した理由は、大学時代のゼミ活動にあります。ゼミ活動で、障害者スポーツについて専攻していました。活動の中で、障害者の方と一緒に手洗いに行く機会があり、その際に普段、健常者の私にとっては使いやすいトイレでも、障害者の方にとってはスペースがなく、不自由であることを知りました。TOTOに入社することで、多くの人に、誰もが使いやすいトイレ環境を届けたい、そして、インバウンドの観光客がTOTOのトイレを利用することによって、日本の清潔な水まわり環境を世界中に広めたいという夢を実現するために、この会社を志望しました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

私は、就職活動の軸として、大手の会社に入りたいという想いがありました。しかし、その想いが漠然としていたこともあり、就職活動でたくさん失敗をしました。面接の際に、一貫した自己表現をすることができなかったため、その会社に入りたいという想いを面接官に思うように伝えられず、落ちた経験もたくさんあります。その際に、私が取り組んだことは、自己分析です。私は大学まで野球を続けてきました。また、その他にも学業に関する活動などを振り返ってみて、自分がどんな人間なのか、どんな経験が今の自分の価値観をつくっているのかを、客観的に振り返ることを徹底的に行いました。すると、将来自分がしたいことは何なのか、そしてその会社を選ぶことで実現可能なのか、次第に見えるようになり、自分が納得できる進路選択をすることができました。この経験をぜひ参考にしてみてください。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

大学生は自由に使える時間が増え、時間を浪費してしまう人も多いかと思います。しかし、企業側には、自主性を持って行動する人が好まれる傾向にあると思います。この自由な時間が使える大学時代に、何でもいいので、頑張れること、やってみたいことを全力で取り組むことで、主体性が身につき、自分自身の成長につながると思います。そして就活本番までに、ぜひ、自分を言語化してみましょう。これまで自分が取り組んできた経験、そして、それを元に形成された価値観を言語化する作業は大事だと思います。面接は自分という面白い映画を見せるようなものです。話はうまくても、つながりがなく、展開がめちゃくちゃな映画は面白いとは言えないと思います。映画の詳細まで、完璧に説明できるぐらい、自己分析を行い、一貫性のあるストーリーを面接官にぶつけて、自分を表現してみてください。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

就職活動で力を入れたことは、説明会に何度も足を運んだことです。業務理解を深めるとともに、実際に労働基準監督官として働いている方の姿を見て、就職活動のモチベーションにしていました。大学時代に力を入れたことは、JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)での活動です。企業の人事の方と連絡を取る機会が多く、メール文の作成や電話対応などビジネスマナーが自然と身につき、本格的に就職活動が始まっても慌てることなく良いスタートをきることができました。また、活動と並行して、1年生のうちから様々な業界を見ることができたため、おのずと就職活動が進みました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

様々な企業や官公庁の説明会に行くと良いと思います。話を聞いてみると、思いのほか面白く、新たな発見があったり、自分が就職活動で何を大切にしたいのかが分かるきっかけになります。“就活生”という立場をうまく活かして、あまり先入観を持たずに説明会に臨むと面白いかもしれません。就職活動においてはつらいこともあるかと思いますが、ひとりで悩むばかりではなく、ぜひ周りの方とたくさん話してみてください。みなさんが心から納得できる進路を実現できるよう、祈っています。



#13

宮崎 恭介さん
経済学部 経済学科
出身校:福岡県立小倉西高等学校

内定先: **TOPPAN株式会社**

職種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

私がTOPPAN株式会社を選んだ理由は、デジタルマーケティング・地方創生・商品パッケージ・建築材・高機能フィルム・ディスプレイ・半導体など多様な商品・サービスを提供しており、自分自身の将来性を高められる会社だと思ったからです。企業が多角化戦略を実施していると、より多くの業界の方々と関わることができるために、働きながら世の中のことを広く学ぶことができるという強みや、やりがいがあると思い、就職を決意しました。そうはいっても、私がTOPPANの選考を受けようと思ったのは、CMを見てという偶然からでした。合同企業説明会もインターンシップも参加できなかつたため、選考を受けながらTOPPANについて知っていくと同時に、志望度も高くなっていました。

私は3年次夏のインターンシップに力を入れて、銀行・不動産・小売を中心に就活をしていましたが、どの業界もしきりこす、結局何も進まないまま3月を迎えてしました。しかし、その経験があったからこそ、自分にマッチした企業を選定できたと思っています。就活では、成功でも失敗でも経験がある方がエントリーシートや面接で根拠のある熱意を伝えることができると思います。決して無駄とは思わず、気軽にいろいろな企業を受けてみることをお勧めします。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

内定まで努力したことは、自己PRや志望理由、企業からの質問に対する対策です。自己PRに関しては、3年次2月までは一通り完成させていました。そのおかげでエントリーシートは楽に書くことができました。どの企業でも通用するエントリーシートにするために、3パターン作成してそれを使い回していました。大学時代の活動を全てリストアップし、企業のHPで閲覧した企業理念に沿ってどのエピソードが良いか考えながら作成していました。「ゼミで視察を行った」「発表の準備をした」「部活での役割」「アルバイトでの貢献」など、書けそうなものは些細なことでも活用しました。多い人は1週間に10数社のエントリーシートを書くので早めに準備することをお勧めします。志望理由に関しては、自分なりに簡単に作成できる方法を見つけ、多用していました。「自分の就活軸+企業が社会的に求められ、それに貢献しているもの=志望動機」です。自分の就活軸を決めていれば、志望熱意は簡単に伝えられます。私であれば「幅広い業界と関わることができる会社・事業が多角化している会社・教育制度がしっかりしている会社」と3つ決めて、その3条件が揃っているから志望したと、それぞれの軸を大切にしているエピソードや考え方を合わせて伝えました。さらに、



#14

高牟禮 翼さん
経済学部 経営情報学科
出身校:福岡県立門司大翔館高等学校

内定先: **株式会社みずほ銀行**

職種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

私がこの企業を目指した理由は、自分のやりたいことができる企業だったからです。もちろん最初からみずほ銀行を志望していたわけではなく、初めは母への憧れから金融業界並びに営業職に就きたいと考えていました。しかし、就職活動を続けていく中で、本当に自分のやりたいことがスタートアップ企業支援であることに気づき、この仕事で業界的に有名である、みずほ銀行を志望するに至りました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

いわゆる業界研究や、エントリーシート添削などもしてもらいましたが、こういったことは早いうちから就職活動を始めていれば自然とできているものだと思いますので、定型文を話すような面接にならないようにさえすれば、特にやることはないとっています。また、学生時代に力を入れたことは、営業アルバイトとボクシングです。ガクチカでは営業アルバ

企業について学んだ知識をフル活用し、熱意をしっかりと伝えることができれば、最終面接でもつまずかないと思います。そして企業質問についての対策ですが、これは新聞購読と大学で学んだ知識で乗り切りました。時事ニュースは知っておくに越したことはないので、選考が集中する4年次4月の1か月間「日本経済新聞」を読み、選考を受ける企業についての記事やその業界のニュースを見て、最新の情報を学んでいました。また、大学で学んだ学問的な視点で発言できるよう、今まで受けた授業の簡単な復習をして、可能な限り自分のフィールドで発言できるように努めました。

これから就活をスタートする 後輩へのアドバイス

就職活動で一番大切なことは「気楽に考えて切り替えること」だと思います。私も地元の大手企業を受けて「不採用」という結果をもらいました。しかし、高校受験や大学受験と違い就活は「似たような企業や待遇の別の職種」を可能な限り受けすることができます。自分自身の「こだわり」からなかなか立ち直れず、時間を無駄にしてしまってはもったいないです。「不採用」をもらった企業は「自分に合っていないんだな」と切り替えて、次の企業の選考に全力を注ぐ方が絶対に成功すると思います。私が「就活うまくいった!」と思えるのもその思考のおかげだと思っています。そのおかげで大事な選考の締め切りを逃さずに志望度の高い企業に「採用」をいただくことができたと思っています。

就活は大変ですが、学業・アルバイト・部活・もちろん遊ぶことも両立させていい結果となるよう頑張ってください!!

イトのエピソードを話し、自己PRではボクシングについて話していました。

これから就活をスタートする 後輩へのアドバイス

早いうちから就活を始めた方が良いと言われても、なかなか面倒だと感じるので、ノリと軽い気持ちでインターの面接を受けてみるのもいいと思います。例えば、特に何の準備もせずに大企業の面接などを受けてみると、想像以上に打ちのめされ、就活を楽観視できなくなってしまうため、追い込まれないと動けないタイプの方には良いかもしれません。実際、私はこの経験のおかげで就活に力を入れないとまずいということに気がついて、本格的に活動することができました。



#15

有薗 果保さん
文学部 比較文化学科
出身校:福岡県立戸畠高等学校

内定先: 九州電力株式会社

職種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

私は生活に身近なことに関わる業界に興味がありました。初めは全国転勤がある企業を目指していましたが、就職活動をしていく中で、福岡県内で就職がしたいという思いが強くなり、エリア指定がある企業を選びました。また、事業内容や説明会から、九州電力は業界トップを目指すというよりも、『九州の人々の生活の当たり前を支えたい』『九州を発展させていきたい』というような思いを感じられ、方向性に惹かれたことから志望しました。

就職活動において、内定までの努力や、 大学生活で力を入れたこと

SPIなど筆記試験対策は早めに取り組むように心がけました。また、私は面接の質問例を200近く考え、回答を用意していました。面接を多く受けることや複数の人に面接練習をしてもらうことによって、質問のバリエーションを増やし、回答を準備するようにしていました。準備をしていると、私の場合は心に余裕を持つことができ、自信をもって答えることができました。大学生活ではJOB×HUNTER(学内合同企業研究会)、語学研修、ボランティアなど興味を感じたものに対しては積極的に行動を起こして参加するようにしていました。

これから就活をスタートする 後輩へのアドバイス

面接では「簡潔に述べ、無駄なことは話さない」ことが大切だと思います。多くのことを話してしまうと面接官がさらに突っ込んだ質問をしやすくなり、その質問に対してうまく回答ができなかった経験があります。緊張も加わって、自分のことを知りたいという気持ちがはやり、私のように質問以上のことを話し、自分から墓穴を掘らないように気を付けてください。そのためにも面接の回数を重ねることや、あらゆる質問に対する回答を準備しておくことがおすすめです。就職活動は心身ともに疲弊することがあると思いますが、気分転換をしつつ頑張ってください。



#16

久保山 駿さん
外国語学部 英米学科
出身校:福岡県立戸畠高等学校

内定先: 航空管制官

職種: 国家公務員(専門職)

業界・業種・企業を目指した志望理由

小学校低学年の頃、かかりつけ医のドクターに貸してもらったDVD(東京コントロール)を視聴したことが最初のきっかけです。元々飛行機を見ることが好きで、よく両親に近くの空港に連れて行ってもらっていましたが、当時は航空管制官の存在は知りませんでした。その後、空港の管制塔見学ツアーへ参加したことでの空の安全を支える仕事に魅力を感じ、将来の夢へとなりました。しかし、航空管制官は国家公務員専門職であり、難易度も高く、また受験に際して年齢制限もあるため、十分に準備して臨むことのできる大学4年生での受験が最適だと考えました。採用試験は3次試験までと非常に長く、苦しい時期もありましたが、小さい頃からの夢を叶える強い気持ちとその受験を後押ししてくれた多くの方の支えがあって、合格を勝ち取ることができました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

大学4年間の中では、英検準1級を取得し、また海外留学で自身の会話力を向上させるため、実践の機会を作るなど積極的に管制官の仕事で求められる力を培いました。また、長期休暇期間は教授室を訪れ、英会話の練習をしばしばすることもありました。塾講師のアルバイトで中高生に英語科目を中心に指導したことでも、自身のさらなる学びにつながったと感じています。

部活動や履修科目のコマ数が落ちていた3年生の冬頃から、本格的に試験勉強を始め、計画的に学習を進めました。周りの友達が次々と企業の内定を決めていく中で、本当に合格を掴み取ることができるのか、当然焦りを感じることもありました。また、公務員試験一本に絞っていることを周知されていることにプレッシャーもありました。しかし、失敗することを恐れず、自分なら絶対に乗り越えられると言い聞かせて、最終的にその大きな試験を乗り越えることができました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

多くの企業を志願し、トライしてみることも一つですが、一番はその先を見据えて、どうしてそこで働きたいのか、またそこでどういった経験・知識を得たいのかを考えて行動することが何より重要です。目標があるからこそ、それがモチベーションの維持や継続につながると思いますし、そこで培った忍耐力や行動力といった経験が、必ず社会で生きてくるはずです。未来の自分を思い描きながら、挑戦を恐れず、目標実現に向けて頑張ってください!



#17

萩原 日向子さん
外国語学部 英米学科
出身校:山陽学園高等学校

内定先: 日本貿易振興機構[JETRO]

職種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

北米・英国留学を経て、日本食文化の偉大さや、多様な環境から生まれる創造性を目の当たりにしたこと、また、食品輸出や日本の文化を好む外国人が日本で活躍しやすい環境づくりを通じ、日本経済の成長に貢献したいという想い、日本食の輸出や高度外国人材採用の支援に取り組んでいるところが、私の就活軸と一致していたことから、本機構を志望しました。

留学中、菜食主義や小麦アレルギーの友人が、味噌や豆腐を頻繁に摂取していたことから、欧州において、米粉などの健康的な日本製食品の潜在的需要を感じ、これらの海外進出を実現するため、将来は本機構の海外駐在員として、日本企業と海外バイヤーの関係構築を支えたいと考えています。また、日本食展示会等を通して、「誰でも食べられる和食レシピ」を拡大しながら、日本食文化の発展に貢献したいです。



#1日

T.K.さん
経済学部 経済学科
出身校:九州産業大学付属
九州産業高等学校

内定先: 門司税関

職種: 国家公務(一般職)

業界・業種・企業を目指した志望理由

公務員である両親の影響で、幼い頃から公務員として働きたいと考えていました。税関は、中学生の頃に見たニュースで税関職員の業務が特集されていたことで興味を持ちました。大学入学後、JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)や個別企業説明会を通じて様々な官公庁や民間企業について知る中で、水際の最前線で国を守る税関職員の仕事に改めて魅力を感じました。特に、国際郵便物の検査業務に惹かれ、門司税関への入庁を志望しました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

私が公務員試験対策で力を入れたのは、自分でスケジュールを組み、計画的に勉強を進めることでした。公務員試験は多くの科目を学ぶ必要があり、直前期には論文や面接対策も重なるため、不安が大きかったのですが、主要科目には毎日触れ、覚えた内容を復習

して忘れないよう心掛けました。

また、勉強の際にはタイマーで時間を計り、科目ごとに記録をつけることで集中力を高めました。この方法により、勉強モードへの切り替えがスムーズになり、自分の進捗を視覚的に確認することで精神的にも安定して対策を続けることができました。さらに、志望官庁の説明会や座談会にも積極的に参加し、毎回必ず質問をするようにしました。当初は緊張していましたが、回数を重ねる中で、業務への理解が深まると同時に、勉強へのモチベーションの維持にもなっていました。

大学生活では、ファストフード店でのアルバイトに力を入れました。特にドライブスルー業務で培ったマルチタスク能力は、面接でのアピールポイントにもなりました。また、アルバイト先には公務員試験に合格した先輩方がいたため、試験対策の進め方について相談し、不安を解消することができました。この経験が、公務員試験の合格に大きく貢献したと感じています。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就活では、今日「できなかったこと」ではなく、今日「できたこと」に目を向け、少しずつ前進していくことが大切です。自分自身、過去には周りの人と勉強時間や模試の結果を比較して焦りや不安を感じ、自信を失ってしまった時期もありました。しかし、周りではなく「昨日の自分」とだけ向き合うよう意識を変えたことで、自分のペースで努力を続けられるようになりました。

就活や試験について考え、向き合っている時点ですでに一步前進しています。今できることに少しでも取り組めば、昨日より成長している自分を実感できます。周囲と比較して落ち込むのではなく、自分なりの「結果が出るやり方」を信じて進めたことが、最終的に自信や目標達成につながりました。これから取り組む皆さんも、自分のペースを大切にして頑張ってください。応援しています！

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

内定までは、自己分析を通して自分がなにをやりたいのか、そしてその意志が叶えられる企業探しに注力しました。それと同時に企業研究を通して企業理解を深めました。

大学生活では、イギリス留学を通してダンスや写真サークル、難民向けボランティアなど、興味を持った活動に積極的に参加しました。留学中やアルバイト先で、様々な経験を経て、自分がどのような時に喜びを覚え、どのようなアクティビティに無我夢中になれるかを考えた上で、就職活動に挑みました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就活を始めるにあたって、自己分析をしっかり行い、自分の強みや興味を知りましょう。

興味を持った業界や企業についてはリサーチし、なぜその企業を志望するのか、自分の目標とどうリンクしているのかをしっかりと言語化できるように準備してください。選考が進むにつれて、不安や緊張を感じることもあるかもしれません、自分の強みや意欲を、自信を持って伝えることが大切です。

最後に、就活は自分を知り、成長するチャンスもあります。焦らず、一つひとつの選考に向き合い、前向きに取り組んでください。皆さんの成功を祈っています！



#19

古海 千和さん
外国语学部 英米学科
出身校:福岡県立八幡南高等学校

株式会社福岡銀行
(ふくおかフィナンシャルグループ)

業種: 総合職

業界・業種・企業を目指した志望理由

大学の授業や留学先の大学で履修した統計学の授業をきっかけにビジネスや数字に興味を持つようになり、帰国後はファイナンスゼミに所属し、金融について学ぶうちに金融業界への就職を考えるようになりました。生活には欠かせない資金面で、お客様の不安や課題を解決することにやりがいを感じることができると想い、金融業界を志望しました。特に銀行は、保険、証券、ローンなど幅広い金融商品を取り扱っており、お客様に資金面での総合的なサポートを行うことができる点に魅力を感じ、その中でも福岡銀行は、地元福岡に根付き、地域の方々からの厚い信頼があるため、就職を決めました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

大学2、3年生では、資格取得に力を入れ、TOEICや簿記など計4個の資格を取得しました。特にTOEICは選考過程でどの企業からも評価していただきました。また、大学在学中にアルバイトや留学など、様々な経験をしました。留学先で受講した授業が金融業界を目指すきっかけになったこともあり、大学生のうちに様々なことに挑戦して良かったと思っています。企業のエントリー前には、企業の基本情報や業務内容、強みを調べ、ファイルにまとめるなど、複数企業のそれぞれの特徴や違いを理解することに注力しました。本選考前には、キャリアセンターでエントリーシートの添削や面接の対策をしていただきました。丁寧な指導の中で的確なアドバイスをいただき、自信を持ってエントリーシートを提出し、面接に臨むことができました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就活を始める前は、先の見えない将来に対して不安に思う方も多いと思います。私自身も自分が希望した企業に就職できるのだろうか、どの企業からも内定がもらえないかぎりどうしようと、そればかり考えていました。しかし、いざ就活を始めてみると、就活は自分と企業のマッチングであることに気付きました。大企業に就職することも素晴らしいですが、一番は自分と合う企業に出会い、就職することだと思います。そのためにもまずは、自分自身をよく理解することと、様々な業界や企業の方のお話を聞いてみることから始めるといいと思います。就活は多くの企業について知ることができ、実際に社会に出て働いている方と関わり、様々なことを学ぶことができる貴重な機会だと思います。皆さんには、少しだけ楽しむ気持ちも持って、悔いのない就職活動をしていただきたいです。皆さんの就職活動が実りあるものになることを願っております。



#20

保田井 綾音さん
法学部 法律学科
出身校:福岡県立香住丘高等学校

内定先: 福岡出入国在留管理局

業種: 国家公務(一般職)

業界・業種・企業を目指した志望理由

私が出入国在留管理局を志望した理由は、入国審査官として国際的な現場で、国民の安心・安全な生活を守るために働くことに憧れ、やりがいがあると感じたからです。また、元々空港で働くことに興味があったため、自分の興味のある治安維持に関する仕事をしつつ、空港で働く機会がある入国管理局が自分に合っていると思いました。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

公務員一本に絞って就活することを決めた時から、説明会に何度も足を運ぶようにしていました。志望先の人事の方に顔を覚えていただくことができ、なにより勉強に対するモチベーション維持につながりました。面接



#21

池内 真優子さん
外国语学部 英米学科
出身校:大分県立大分舞鶴高等学校

内定先: **日本航空株式会社[JAL]**

職種: 客室乗務員

業界・業種・企業を目指した志望理由

中学生で初めて一人で日本航空の飛行機に乗った際、心細かった私に客室乗務員の方が声をかけてくださったのがきっかけで憧れを持つようになりました。また、幼い頃から人と交流することができ、人と関わる仕事を目指していました。学校教育を超えた交流をする中で、英語を使うことができればもっと多くの人の価値観に触れられることを知り、高校時代は英語をツールとして異文化を学ぶ大学を探し、北九州市立大学に入学しました。入学時はあいにくのコロナ禍でなかなか思った大学生活にはならず、留学も2度中止になった時に最後のチャンスとしてディズニープログラムに挑戦しました。無事に面接を通過し、参加する機会を頂きました。このプログラムで、人を喜ばせることの楽しさと同じ目標を持って働く仲間の大切さを知りました。この経験が幼い頃の憧れを思い出させてくれ、夢だった「日本航空の客室乗務員」を目指すようになりました。

において、説明会に参加した回数を伝えたことで、自分の志望度の高さを示すことができたと思います。

筆記対策については、生協公務員講座の問題集を短いスパンで繰り返すことを意識していました。試験範囲が膨大かつ科目数も多いため、半年間の勉強期間のなかで、知識が抜けてしまうことがないよう、一日でなるべく多くの科目に触れるようにしていました。

大学生活では、学生が主体となって学内合同企業研究会を運営するJOB×HUNTERや生協の新入生サポートセンターなど興味のある活動に積極的に参加するようにしていました。特にJOB×HUNTERでは、一から大規模なイベントの運営に携わることができるために、他の活動では体験できない貴重な経験でした。また、組織で動く上で自分がどういった役割が向いているのか自己分析するきっかけになったと考えています。

就職活動において、内定までの努力や、大学生活で力を入れたこと

私はエアラインスクール等には通っていなかったため、客室乗務員に特化した対策はほとんど行っていませんでした。他にエントリーした業界もたくさんありましたが、就職活動の軸として持っていた、「やりがいを感じることのできる仕事」を、志望している企業のどの部分で感じられるのか、そのために私が持っているスキルとこれから身に付けていくスキルを意識して取り組んでいました。

就職活動が本格化するまでは客室乗務員を具体的に目指していたわけではありませんが、人と関わる仕事をしたいという思いは持っていたので、大学時代は様々な年代・立場の方と関わることを意識していました。特にアルバイトは塾やこども写真館、結婚式場や飲食店など、様々な経験をさせていただきました。これらの経験が面接などでも話のネタになりました。また、大人の方と接することや丁寧な言葉を使うことに慣れていたため、人事の方相手にもリラックスしていつも通りの自分で取り組むのにも役立ったと思っています。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

就職活動は様々なことが一気に押し寄せてきてとても大変です。自分と向き合う時間やスケジュール管理が必要だったり、金銭的負担や時間の拘束も伴います。周りを見て焦ったり、心が折れそうになることもあります。周りの方をたくさん頼って、たまには自分を甘やかして、そして自分を信じて乗り越えてください。みなさんのことを応援しています。

様々な経験をしたことで、面接でのアピールポイントが増え、自信をもって面接に臨むことができました。

これから就活をスタートする後輩へのアドバイス

公務員試験は長丁場で、筆記試験対策も必要なため、不安になることが多いと思います。そんな時は周りの友人やキャリアセンターの方に積極的に相談してみてください。キャリアカウンセラーの方々は、優しく真摯に対応してくださるので、不安な気持ちを少しでも解消できると思います。なにより元気でいることが大事なので、体調管理に気を付けながら、頑張ってください!応援しています!

「社会で働く上で必要とされる力」の養成と、きめ細かい就職活動支援

キャリアセンターの目的

- 1 社会で求められる力を養成すること
- 2 きめ細かい就職活動支援を行うこと



この2つを両立させることで、

“就職できる学生”から
“社会で活躍できる人材”への
ステップアップを支援します。

キャリアセンターの利用について

場所 本館1階「学生プラザ」内
(A-101教室向かい)

開館時間 月曜日～金曜日
9:00～17:00

※土日・祝日は休館。
※開館時間は変更する可能性がありますので、事前にHP、
お電話等でご確認ください。

キャリアカウンセラー

(キャリアコンサルタント[国家資格])による就職相談

キャリアカウンセラーに就職活動全般やキャリアプランについて相談ができます。

「就職活動を何から始めればいいかわからない…」といった相談から、エントリーシート添削や面接練習もできます。一対一でじっくりお話ができるように予約制となっています。



学生と時代のニーズに応えるキャリアセンターの取組

キャリア形成支援の正課授業

キャリア形成のための様々な正課授業を設けています。授業を通して自己理解を深めるほか、コミュニケーション能力を高め、職業観を養成します。社会で求められる能力をしっかりと身につけられます。

キャリアセンター入口



学生主体の実践プロジェクト

実践的な活動を通して、スキルアップできる機会を数多く設けています。学生が主体となって、様々なプロジェクトを企画・運営することで、仕事の仕組みやノウハウ、社会人マナーについて学べます。

就職活動支援

キャリアカウンセラー、各学部担当職員など経験豊富なスタッフが進路の相談に応じます。スタッフを面接官役にして、実践ながらの模擬面接を受けることもできます。また、学内にて就職支援講座を開催しています。

WEB面談ブース



採用選考・インターンシップ選考のためのWEB面談で使用できます。



ラウンジスペース



本を読んだり、求人票を見たり、学生が自由に使えるスペースです。日経新聞の閲覧もできます。

プロジェクトルーム



様々な就職支援講座が行われる会場です。面接対策講座、エントリーシート講座、グループディスカッション講座、自己分析講座など、多くの就職支援講座を開催します。また、企業・団体の説明会や研究会、座談会等も実施します。

ドリンクサーバー



キャリアセンター公式LINEのお友だち登録特典として、ワンドリンクプレゼントします。窓口で登録画面を見せてください!

北方キャンパスの特色ある就職支援

エアライン特別講座(3年生対象)

本学では、地元航空会社と連携し、学部3年生を対象として「エアライン特別講座」を実施しています。現役の客室乗務員等から航空業界の現状や業務紹介のほか、プロフェッショナルの仕事・キャリアプランについて学んでいます。

この結果、近年、本学ではキャビンアテンダントへの採用者数が全国の国公立大学でトップクラスとなっております。



公務員研究室

2014年度から公務員専門学校講師による「公務員研究室」を開設し、公務員を目指す学生を全面的にバックアップしています。全学年対象の「なんでも相談会」を毎月開催し、1・2年生は業界・職種・自己理解等を深め、4年生は、応募書類や面接カードの添削、面談や面接対策等を何度も行います。この結果、毎年、多くの公務員合格者を輩出しています。



各種就職支援講座

● キャリアセンター年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主なイベント	インターンシップ&キャリアガイダンス(夏)	インターンシップ等学内合同説明会(夏) インターンシップ等(事前研修)			インターンシップ等(事後研修)	就職ガイダンス	JOB × HUNTER	グループ企業研究セミナー 業種・職種・企業研究セミナー				
4年生	企業説明会参加	→	選考・面接									
		学内個別・合同企業説明会実施										
3年生	マナー講座、業界研究、夏季インターンシップ等参加	→				各種イベント・支援講座参加、冬季・春季インターンシップ等参加	→			企業説明会参加		
2年生	低学年向けインターンシップガイダンス	→										
1年生	情報収集、業界研究、オープン・カンパニー(仕事体験)、各種イベント参加	→										

JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)

JOB×HUNTERは、学生が主体となってイベントの企画、参加企業・団体の選定から出展交渉、イベント広報、当日の運営まですべてを行う一大イベントです。北九大生を採用したいと考えている企業・団体が参加し、一度に多くの企業・団体のお話を聞くことができます。



インターンシップ

本学では、大学主催の「北九州市立大学パートナーインターンシップ」等、夏季及び春季の長期休業を利用したインターンシップを大きく展開しています。実際に参加した学生からは「自分を知るきっかけとなった」「企業や業界を研究することができた」など、成果を示す声が上がっています。

就職支援パートナーシップ制度

本学では、出身地近郊で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を実施しています。これにより本学の学生は、就職を希望する地域の全国13大学で、就職支援、就職関連資料の閲覧、就職ラウンジの利用など本学と同様の支援が受けられます。

横浜市立大学

北九州市立大学

名古屋市立大学

静岡県立大学

国際教養大学

兵庫県立大学

都留文科大学

広島市立大学

長野県立大学

大阪公立大学

山梨大学

福井県立大学

東京都立大学

山梨県立大学



学生の就職活動

- 1.求人情報等の提供、相談
- 2.就職関連資料の閲示
- 3.就職ラウンジの開放

就職相談学生サポート

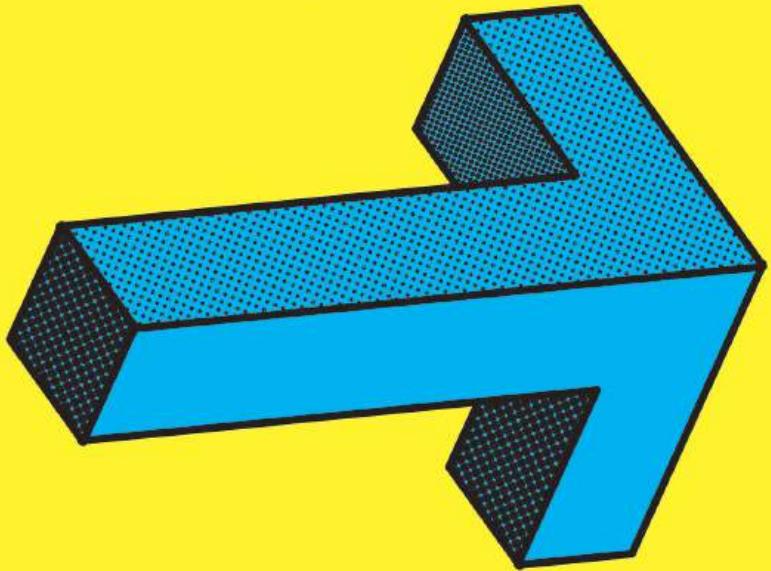
就職先が内定した4年生がスタッフとして自分の経験を交え、学生の目線で質問に答えたりアドバイスを送ったりと親身になって就職活動に関する相談に応じます。また、4年生にとっても、傾聴やプレゼンテーションなど就職に向けてスキルアップできる機会となっています。民間企業へ就職する学生だけでなく、公務員、教員に進路を決めた学生も、スタッフとして幅広い分野でのアドバイスを行います。



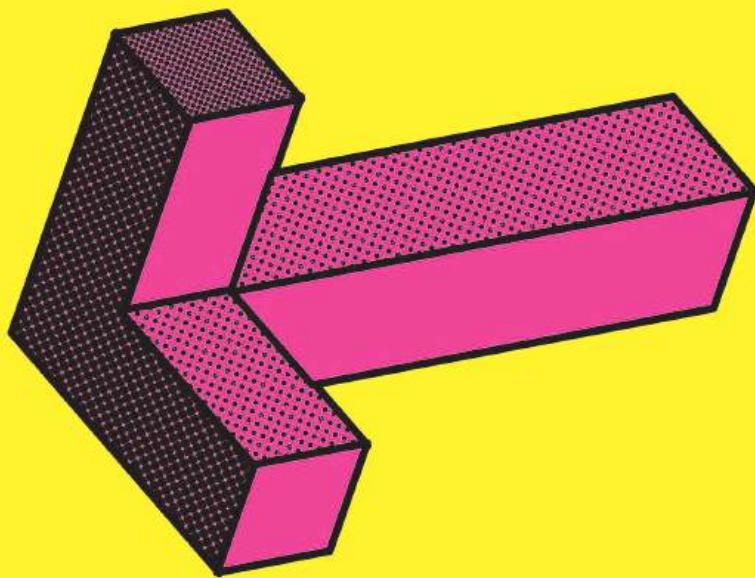
学内個別企業説明会

北九大生を採用したいと考えている企業・団体が学内で個別の説明会を開催します。この説明会に参加して内定を獲得した先輩が多数います。





TO THE
FUTURE



キャリアセンターオリジナルHP



最新の情報を学年別に確認できる!
北九大の就職情報が充実!!



右記QRコードを読み取り、
スマートフォンのホーム画面に保存し、
いつでも確認できるようにしよう!

【在学生向け】OB/OG訪問ツール「ビズリーチ・キャンパス」に登録しよう!

北九州市立大学では、「ビズリーチ・キャンパス」を大学公認のOB/OG訪問ツールとして利用しています。連絡先・SNS等の個人情報のやり取りを行わずに、アプリ内でメッセージ送付、通話(オンライン訪問)が完結するため、安全かつスムーズなOB/OG訪問が可能となります。ぜひ、ビズリーチ・キャンパスへご登録のうえ、OB/OG訪問を実施してみましょう!



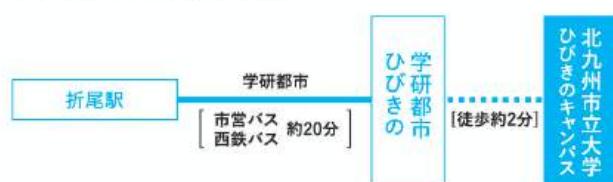
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

北方キャンパス 学生支援課就職係【キャリアセンター】



〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
Eメールアドレス: syusyoku@kitakyu-u.ac.jp
ホームページ: <https://www.kitakyu-u.ac.jp>

ひびきのキャンパス 学務課学生係



〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
Eメールアドレス: h-gakusei@kitakyu-u.ac.jp
ホームページ: <https://www.kitakyu-u.ac.jp/env/>